



▲厳島神社でデフあわじふくろう連 記念撮影 2025.8.2



社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者
福祉事業協会

一人ひとりを大切に(人権)
ともに生きる(共生)

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
〒 656-0002
洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL : 0799-25-8550
FAX : 0799-25-8551

右のQRコードから
ホームページをご覧ください。



日の出日の入りから、秋は近づいていている感じですが、気温はまだ夏のままであります。今年11月15～26日、東京で聴覚障害者のオリンピック、『デフリンピック』が開催されます。大会を盛り上げようと6月から岩手を皮切りに、キヤラバンカーが日本中を駆け巡っています。淡路島では、9月18日の午前に、徳島からやつてきたキヤラバンカーが、南あわじ市→洲本市→淡路市を走ります。見かけた方はぜひ、両手をヒラヒラと手話の拍手で応援よろしくお願いします。他にも9月23日は「手話言語の国際デー」でイメージカラーのブルーが全国のあちこちでライトアップされる予定です。

私は、初めて淡路島まつりに参加させていただきました。8月初旬で暑い中だったので、地域の方々や入居者さま、施設職員の皆さんの協力により無事に終え、楽しむことができました。淡路島まつりでは、阿波踊りの伝統的な文化体験で、貴重な経験をさせていただきました。音楽と連動している点で、リズムやテンポを合わせながら入居者と一緒に道を歩いて行きました。入居者さまの笑顔や満面の笑みを見る事ができ、私も感動しました。

長い歴史を持ち、地域の人々の力を合わせて作り上げられている迫力のあるお祭りの雰囲気を感じられる点が、すごく良かつたです。又、太鼓の音、鈴の音、そして踊の迫力、生で見る阿波踊りは、想像以上に感動的でした。入居者さまにも日々の施設内で過ごされておられることが多く、たまにはお外に出ておき、いい空気を感じながらストレス軽減や楽しみも作ってあげる時間も必要だと感じました。私も、貴重な経験ができ、日々の日常生活に活かしていきたいです。

(生活援助員 畠 ひづる)

一
ジ!!



▶祭りの出発前に、助六寿司を食べて、栄養チャ

▶出番の時間が来るまで、神社で待機。法被を着た保育園児達の姿も見ることができました。





故人を偲んで

8月13日（水）に偲ぶ会が行われました。

昨年の8月から今年の1年間で11名の方がお亡くなりになられ、偲ぶ会に集まつて下さいました。入居者さまと、故人の思い出をお話させていただきました。

「Aさまは、おせんべいが大好きだった。」「Bさまは、字がとてもきれいですぐ上手でした。」「Cさまはご夫婦でふくろうの郷に入居され、とても仲が良い夫婦であった。」等、当時の思い出をお話しすると、入居者さまは「そうだったんだ」「顔は覚えてないな」「この人は覚えている」と話されておられました。



その後、松栄寺へ入居者代表で吉見さま、勝楽さま、小玉さまの3人で参拝させていただきました。

お墓から見える景色はとてもきれい迎え火を焼き、故人さまが好きだったお酒や和菓子をお供えして手を合わせました。

お墓から見える景色はとてもきれいで故人さまたちは洲本の四季折々の景色を楽しんでいらっしゃることが思っています。

前日には雨や雷もなつていたのでお天気が心配でしたが、日差しも強くなくお天気に恵まれた参拝日和となりました。

（生活援助員 須藤 真奈美）

案山子10体 完成

毎年恒例の案山子作りを8月23日（土）24（日）に地域の方々の多大なるお力添えの下、入所者の方、職員の皆さんと共に案山子を作ることが出来ました。

23日（土）は地域の方と共に竹材の調達から骨組み作りを行い、職員、入所者の方と共に「これ可愛い、こっちが綺麗」など和気あいあい話ながら案山子の着物選別まで行いました。

24日（日）は昨日作成の骨組みに選定した着物を大勢の地域の方に来て頂き、入所者の方、職員と共に着せ表情も色付けにて美男美女の案山子を10体作成することが出来ました。

入所者の方は普段のイベントにあまり参加されない方も「縫物、着物の選定」に興味を示され、大勢参加して頂きました。

地域の方々には2日間にわたり暑い中お力添えを頂きありがとうございました。

（生活援助員 坂本 昌之）



すいか割り



方には、調理師が柔らかくソフト食に加工して食べていただきました。皆さまからの声はとても良かつたと評判を頂き、スイカ美味しいかった！との声が多く、笑顔も見せていただけました。来年もスイカ割りをまた行いたいと思います。

(生活援助員 石黒裕規)



9月ふくろうの暮らし

- 9/1(月)ふくろう理髪店
- 9/2(火)ふくろう大学(演劇)
- 9/3(水)誕生日会
- 9/6(土)回想法
- 9/9(火)ふくろう工房(作業)
- 9/10(水)手話講座
- 9/13(土)ふくろう敬老会
- 9/14(日)淡聴協敬老の集い
- 9/17(水)避難訓練
- 9/20(土)ふくろう大学(書道)
- 9/19(火)ふくろう大学(絵手紙)
- 9/24(水)料理講座
- 9/30(水)ふくろう喫茶

第19回ふくろうふれ愛まつりのPR

日時：2025年10月26日(日)

11:00 ~ 15:00

場所：淡路ふくろうの郷

内容：キッチンカーが来ます。

***大型バスの駐車場はございません。**

各自でご用意ください。



◎ちぎり絵



気持ちよくお風呂に入っている絵や食事を楽しんでいる絵をみんなで貼りました。

◎ふくろう喫茶

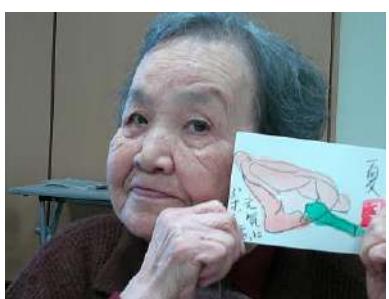


調理職員が
たんさんせんべ
いサンドを作っ
てくれました。



◎絵手紙

パプリカ、とうもろこし、花火、ししとうを描きました。



◎料理講座

ホットプレートでお好み焼きを作りました。キャベツを切ったり、粉を混ぜたり、みんなで協力しながら美味しいお好み焼きが完成しました。



「聞こえなくともできるのを証明」っていう者の採用が広がる

や手話教室での講師など幅広く活躍されています。山田氏の人生から高齢期を元気に生きるヒントを学びたいと20名が参加しました。

第4回目となる社会生活教室は8月13日(水)洲本市健康福祉館で開催しました。今回講演をお願いした山田幸夫氏は現在78歳。明石ろうボランティア他ろう歴史学会うあ協会会員で明石市の観光

高齢期を 元気に生きる



洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3 階



▲話題の多さ、元気さに圧倒されました

妻の病院がさへたまに、病院の手話通訳設置につながる

繋がり、障害者雇用促進法が施行されたこともあり、聴覚障害者の採用が増えました。周囲からも随分と「お前のおかげだ」と言われてうれしかったです。

▲話題の多さ、元気さに圧倒されました

妻の病気がきっかけで、病院の手話通訳設置につながる妻が病気にかかり、理解のある看護師との出会いによつて、納得のいく治療が受けらるるようにと要望もしました。これにより今では予約なしで、市立伊丹病院を受診しても手話通訳下請会社に就職しました。上業後、親の紹介で三菱電機の下請会社に就職しました。上司や同僚に不平不満を言わず、一生懸命仕事に打ち込んでそうです。ある時、障害者技能競技大会（アビリンピック）への参加を勧められ、第1回などに参加し、気になつた

手話通訳者が育つてほしい



▲質問、意見を発表する奥井大さん

講師自身が楽しめる講習会を！

手話泰什員養成講座講師研修会 8/23

神戸ろう協理事の井上健司氏に来ていただき、手話奉仕員養成講座を担当している 8 名が「講師の心構え」についてお話を聞きしたり、実際に指導している中で、悩みや困っていることについても、助言いただきました。

冒頭、講師から「講師自身が楽しめていますか?」との問い合わせがあり、まずは自身の姿勢を振り返るところから始まりました。ろう講師、健聴講師お互いの協力、一人ひとり

の受講者の頑張りを認める、
指導書を作ると目的や時間配
分ができる安心できる、とのお
話

参加者から「参考になつた」「講師も受講生も楽しめる講習会を目指したい」などの感想が聞かれました（吉川）



▲講習会を振り返る機会となった研修会

を証明することができ理解に繋がり、障害者雇用促進法が施行されたこともあり、聴覚障害者の採用が増えました。周囲からも随分と「お前のおかげだ」と言われてうれしかったです。

妻の病気がきっかけで、病院く、常にろう者と行動をとった。(瀬田)

ことを更に調べたり様々なものにするなど、コツを教えてくださいました。常にパワフルに活動されており、探求熱心で人との関わりが好きな山田氏からたくさんのことを使います。常に手話通訳者を育むことでバイタリティに溢れています。実際に手話を育む方法の参考となつた一日でした。



中川原 地域ふれあい便り

発行団体：中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター運営委員会

住 所：〒656-0002 津本市中川原町中川原222-2

TEL:0799-28-0990 又は 28-0991 FAX:0799-28-0992

デイサービスセンター桜ヶ丘に見学、体験に来られませんか？



レクレーション



身体を動かしましょう！



汗を流したあとはかき氷！おいしいね！



	月	火	水	木	金
ご利用いただける曜日	○	○	○	○	○
入浴いただける曜日	○	○	○	○	○

お問合せは 0799-28-0993

デイサービスセンター桜ヶ丘吉川まで

個人情報の保護等・感染症対策実践研修 ふれあいセンター

8月28日(木)午後5時から
6時、ふれあいセンター職員
を対象とした「個人情報の保
護及びプライバシー保護に関
する研修」・「嘔吐時対応研修
訓練」を実施しました。「個人
情報の保護及びプライバシー
保護に関する」では、研修動画
教材を活用し、個人情報保護
法の基本的な理解を深めると
ともに、介護現場で起こり得



る情報漏洩の事例を通じて、
利用者の尊厳を守るために具
体的な対応策を学びました。
特に「福祉介護の施設職員
のための研修」では、日常業務
に潜むリスクとその予防策が
明確に示され、職員一人ひと
りの意識改革の必要性を強く
感じました。また、ケアの中で
の細やかな配慮が、利用者と
の信頼関係の構築につながる
ことを改めて認識する機会と
なりました。

「おのころの家」ご利用募集

- 対象者:就労継続支援B型を希望される方
- 活動内容
 - ・焼き菓子・菓子パンの製造販売
 - ・塩のゴミ取り、パック詰め作業
 - ・地域委託業務(トイレ清掃など)



- 営業日:月・火・水・木・金 (休業日:土日)
- サービス: 食事提供・送迎有(淡路島全域対応)
- ☆お問い合わせ:
- ☎:0799-28-0995 FAX:0799-28-0992
- ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

さらに、実施された嘔吐時
対応研修訓練では、感染症対
策の重要性を再確認しまし
た。嘔吐物には強い感染力を
持つ病原体が含まれている可
能性があり、処理方法を誤る
と職員や他の利用者への感染
拡大につながることを学びま
した。

今後は、研修や訓練で得た
知識と気づきを職場内で共有
し、利用者が安心してサービ
スを受けられる環境づくりに
努めてまいります。

(研修担当 橋詰)
（おのころ屋 山田）

8月17日(日)午後1時30分
から、神戸市長田区文化セン
ターにてひょうご聴障ネット
夏の学習会が行われ、焼菓子
の販売を行いました。会場に
到着し、利用者さんと一緒に
販売の準備を行いました。

なかなかお客様が来られな
かったので少し心配しました
が、休憩時間になると沢山の
方に来ていただき、利用者さ
んも積極的に販売を行ってい
つたです。

★玉ねぎ販売完了★
ご協力頂き誠にありがとうございました。

ひょうご聴障ネット 夏の学習会に参加して

ました。何人かのお客様に「今
日もパンの販売はないの?」
と尋ねられました。

学習の内容もとても興味深
いものでした。これまでニュ
ースや報道などで色々見聞き
していましたが、弁護団の立
ち上げから40人になった経緯
など、様々なお話を聞くこと
ができました。参加して良か
つたです。

神戸長田ふくろうの杜

〒653-0836
兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14
電話：078 798 7940
FAX：078 798 7941

新戦力！ふくろうっこに

学生アルバイトさんがやってきた！

感想が寄せられています。アルバイトに入ってくれた学生達からも感想をいただいています。



何を話しているのかな？

★三木さん★
(大学4回生)

自分が手話を

使う機会を増や
したかったこと

と塾でアルバイトをしているためその経験が活かせたらと思ったのが応募のきっかけです。

仕事をする中で、集団行動をする上で、一人ひとりの自主性や個性を尊重しながら関わることの難しさを感じました。また、ふくろうっこでただきました。子ども達は「お兄さん！お姉さん！」と大喜びでした。ハグしてもらったり、子どもを抱いて回転してみたり、普段なかなかしてもらえない体力を使つた遊びをしてもらえてうれしそう！「アニメや漫画など共通の話題ができるうれしかった！」「お兄さんと鬼ごっこするのが楽しい！」「大学生生活などの話が聞けて為になつた！」など楽しい

以前から地域のサークルに所属するなどして手話の学習に取り組んでおり、そこでの交流等を通して職員の方から学生アルバイトを紹介していただき応募しました。



★米津さん★
(大学4回生)

所だと感じました。短い期間でしたがふくろうっこのみんなに元気をもらいました！一緒に勉強したり遊んだり、とても楽しかったです！またどこかで見かけた時は声かけてください。

子ども達の利用時間が長くなる夏休み、はじけるばかりの子ども達のエネルギーを受け止めるべく、今年は学生アルバイトさん3名に来てもらいました。アルバイトさんにもきこえにくい・きこえない子どもと関わることでどう教育に関心を持つていただけたように思います。

3名とも手話ができており、子どもたちそれぞれのコミュニケーションツールに合わせながら関わっていました。子ども達は「お兄さん！お姉さん！」と大喜びでした。ハグしてもらつたり、子どもを抱いて回転してみたり、普段なかなかしてもらえない体力を使つた遊びをしてもらえてうれしそう！「アニメや漫画など共通の話題ができるうれしかった！」「お兄さんと鬼ごっこするのが楽しい！」「大学生生活などの話が聞けて为になつた！」など楽しい



仲良くなりました！

★渡邊さん★ (大学1回生)

幼い頃からろうの方と関わっていたので興味がありました。また、教育者志望なので子ども達と実際に関わって、現場でしか学べないことを体験し、将来に活かせると思って応募しました。子ども達は手話のみでしか話せないと思っていたけど人工内耳などで、意思疎通がしっかりとできました。子ども達は手話のみでしか話せないと思っていました。職員の方も手話が堪能で、自分は手話ができるおらず、ろう者の方と立場が逆転した気持ちになり、手話をもつと覚えて会話に入れよう努力しようと思いました。子ども達は元気過ぎます！みんなが楽しんでる姿を見ると元気が出るのでもつともっと楽しめる姿を見せてください！

★子どもたちや私たちスタッフ、また学生バイト達にとつても、それそれエネルギーッシュな夏休みでした。学生さんは社会に出た後もその経験を還元、どんどん活かしていくのが嬉しいと思っています。（放課後等デイサービス 管理者 山本英由美）